

～～第7735回～～

甲斐駒ヶ岳

～H27. 8. 8-9～

8月8日 広河原行き芦安駐車場発のバス時刻に合わせて静岡6時出発。3時間弱で到着。案内看板にそって到着した市営無料駐車場はかなり混んでいて、駐車できたのは第8駐車場。そこにも乗り合いタクシーが待っていて、すぐに広河原へ向かう。料金1200円/人（ちなみにバス代は1130円/人）。約45分で広河原へ。北沢峠行きのバス時刻は12:30。北岳などを眺めて待っていると、臨時バスが11:30に出るとのアナウンスあり。北沢峠到着12:00。北沢長衛小屋前テント場まで歩いて約10分。すでに色とりどりのテントで埋まっていた。小屋南側はキャンプ指定地で約100張可能。10人でテント2張り設置（5人/張り）。テント近くで乾杯、夕飯の支度。夕飯は各人持参のボンカレーなど。テント場情報：テント代500円/人、エビス生ビール900円、水は豊富、トイレは小屋横にあり。

8月9日 3時過ぎに起床。朝食を食べて出発準備。テントは張ったまま、不要な荷物はテント内に残しておく。帰りのバス時刻13:30に間に合うように4:30出発。まだ薄暗い中をヘッドランプで道を照らして歩きはじめる。気持ち良い樹林帯の中の道。北沢に沿って堰堤を越えて進む。途中丸太橋で沢を渡る。仙水小屋脇で休憩後、仙水峠目指して徐々に登って行く。途中から岩の上を進む道となり、樹木も徐々に低木が増え朝日に照らされた周囲の山が見えてくる。仙水峠では正面に摩利支天の岸壁が眺められ、その左奥には甲斐駒ヶ岳と初めて山全体を望むことができた。右側に目をやると鳳凰三山の地藏岳オベリスクがきれいに見える。この辺りから団体などの登山客の数が増えてきて、この後の歩みは譲り譲られて進むこととなる。駒津峰への樹林帯の上りはかなりの急登でゆっくりと確実に歩みを進めていく。途中から視界が開けてきて、仙丈ヶ岳、鳳凰三山、北岳などの眺めが良くなっていく。上りきった所が駒津峰で大勢の登山客が休憩しにぎわっていた。周囲の眺めがすばらしい。休憩して疲れを癒した後、一旦は下る道へ入って行く。大きな岩の上を通り、乗り越え、さらには急降下して進む。滑り落ちないように、足の置場には細心の注意が必要である。前面に甲斐駒ヶ岳の姿を眺めながら進むと、巨大な岩石が目立つ六方石に到着。この先で摩利支天方面へ向かう道と直登コースとに分かれる。直登コースは地図上でも落石など危険とあり、ほとんどの登山者が進む右方面の摩利支天方面へ向かう。徐々に砂礫の崩れやすいコースとなる。滑らないように細心の注意を払って歩く。摩利支天への分岐付近からは花崗岩と白砂の道となり、ますます崩れた砂で靴底が滑りやすくなる。下山してくる登山者も増えてきて道を譲りあいながらで時間がかかるようになる。快晴の中暑さも加わり体力が消耗されてきているので、譲りあう時間で立ち休憩をとる。摩利支天との稜線に出て黒戸尾根からの登山道と合流した後、すぐに甲斐駒ヶ岳山頂（2967m）へ到着した。すでに大勢の登山客で埋め尽くされていた。全周すべての山並みが見渡せる。近くには北岳・間ノ岳

など南アルプスの山々。中央アルプス、御嶽山、北アルプス、八ヶ岳等々。そして鳳凰三山越しに富士山の雄姿もみえる。記念撮影を済ませて、15分後には下山開始。白砂がざらつく登山道の下りこそ、滑らないように一步一步確実な歩みが求められる。続々と頂上目指す人が登ってきていて、すれ違いにますます時間がかかるようになる。六方石付近の岩場は完全な交互通行状態である。駒津峰からの下山は、時間短縮を考えて当初予定していた双児山経由ではなく仙水峠を通るコースに変更した。仙水小屋で出た水はボウリングした水とのことで、汗で水分が失われている身体への補給水としてはこれとない美味しさでゴクゴクとのどに流し込んだ。13:05 北沢峠テント場到着、急いでテント撤収して北沢峠バス乗り場へと向かい、予定していた13:30発のバスに乗り込んだ。広河原ではすでに大勢のバス待ちの列が延びていて、14:30発のバスは5台増発全てほぼ満席状態であった。芦安バス停下車後、第8駐車場までの歩きは暑さと疲れで大変であった。芦安にて日帰り温泉で汗を流して帰静した。(立ち寄り日帰り温泉は道路沿いに何軒もある。)

今回は夏山登山の装備の事前点検・準備がいかに重要かを痛感させられた登山でもあった。登り始め早々から登山靴の靴底が剥がれ始めた人がいたので、予備の靴ひもで縛り補強して歩くこととなった。それでもしばらく歩くと底の部分が横ずれして、何度も縛り直しを余儀なくされた。そのことで全体の歩みが何度も中断された。無事最後まで歩き通して下山できたのは幸いではあったが、このようなことは二度とあってはならないと肝に銘じた。

参加者：10名（静岡北9、静岡東1）

天候：快晴

地図：甲斐駒ヶ岳

コースタイム：北沢長衛小屋前テント場 430…仙水小屋前 507…仙水峠 550…駒津峰 733…摩利支天分岐 850…甲斐駒ヶ岳山頂 930-45…駒津峰 1115…仙水峠 1210…テント場 1305（注：大勢の登山客が集中した中でのコースタイム）

記録：静岡北支部 望月一生



甲斐駒ヶ岳九合目



甲斐駒ヶ岳山頂から摩利支天と日本の高山「富士山・北岳・間ノ岳」を望む